

## 計算書類に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

長野県信用組合で口座を開設する際に取得した。取得価額で計上している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

建物・構築物・車両運搬具・器具及び備品・ソフトウェアについて、定額法を採用している。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金 社会福祉法人長野県社会福祉協議会の長野県民間社会福祉従事者退職年金共済に加入、法人本部拠点にて掛金累計額で計上している。

法人独自退職給付引当金 独立行政法人福祉医療機構の退職手当共済に加入していない職員に対し、退職手当金規則に基づき算定された額を法人本部拠点にて計上している。

### 3. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 4. 法人で採用する退職給付制度

独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済及び

社会福祉法人長野県社会福祉協議会の長野県民間社会福祉事業従事者退職年金共済に加入している。

ただし平成28年度以降に入職し福祉医療機構の退職手当共済に加入していない職員は、退職手当金規則に基づき支給を行う。支給額は退職時における基本給の月額に職員各人の勤続年数に応じた退職手当金支給率を乗じて得た額とする。退職手当支給率は福祉医療機構で定める支給率に準じる。

### 5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

#### (1) 法人全体の計算書類(第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

#### (2) 事業区分別内訳表(事業区分が社会福祉事業のみのため作成を省略)

#### (3) 拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

#### (4) サービス区分別明細書(別紙3(㊿)、別紙3(㊿))

森と木365の拠点について作成。

#### (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

社会福祉事業

##### 1. 法人本部

##### 2. 森と木(生活介護)

##### 3. 風の森(生活介護)

##### 4. モーリー農場(生活介護)

##### 5. もりすけ(生活介護)

##### 6. 森と木LIFE(生活介護)

##### 7. もりときマーケット(就労継続支援B型・生活介護)

##### 8. ベジタポーラ(就労継続支援B型)

##### 9. 森と木ラボ(自立訓練・就労移行支援)

##### 10. もりときピコ(放課後等デイサービス)

##### 11. こども発達支援センターBee(児童発達支援・保育所等訪問支援)

##### 12. こどもの自立生活館菫舎(放課後等デイサービス)

##### 13. ワンズハウス(放課後等デイサービス)

##### 14. 森と木365(短期入所、在宅支援、障害者相談支援事業、障害児相談支援事業)

##### 15. グループホーム(共同生活援助・短期入所)

##### 16. 地域活動支援センター(地域活動支援センターI型)

### 6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	112,678,800	0	0	112,678,800
建物	466,639,099	115,382	36,411,184	430,343,297
合 計	579,317,899	115,382	36,411,184	543,022,097

### 7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産  
該当なし

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
土地（基本財産）	112,678,800	0	112,678,800
建物（基本財産）	706,593,178	276,249,881	430,343,297
建物	508,867,632	243,944,448	264,923,184
構築物	26,087,620	10,013,707	16,073,913
車輛運搬具	50,128,975	46,779,809	3,349,166
器具及び備品	148,773,443	123,538,554	25,234,889
ソフトウェア	2,622,690	2,094,549	528,141
合 計	1,555,752,338	702,620,948	853,131,390

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。  
該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。  
該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。  
該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び

純資産の状態を明らかにするために必要な事項

- ・一昨年度施設整備補助金事業として計上していた工事が、実際入札を行ったところ当初の見積額より低い金額で落札となった。そのため昨年度において、器具及び備品を1,268,136円減額しその他の特別損失とした。また、国庫補助金等特別積立金を957,000円取崩しその他の特別収益とする処理を行った。今年度において、残額のあった未収補助金957,000円を雑損失、未払費用1,268,136円を雑収益として処理を行った。
- ・修繕積立金について、本年度は20,071,879円の取崩しを行い、新たに20,000,000円の積立を行っている。また、満期となった積立金20,000,000円を一度取崩し、同額積み立てている。
- ・基本財産の増減について、マイルーム東和田の工事費115,382円を昨年度までその他の固定資産に計上していたが基本財産に振り替えたため、増加になっている。